● 令和5年度 講演会 第1回 『内分泌(甲状腺疾患)』●

講師:広島大学病院 小児科 香川 礼子 先生

実施日時: 令和5年8月23日(水) 14:00~15:30

会 場:オンライン開催(Z00M) (東部保健所・難病対策センター)

対 象 者:甲状腺疾患の子どもの家族、支援関係者、関心のある方

参加者:家族3名 養護教諭2名 大学院生2名 看護師1名

保健師 1 名 担当:東部保健所

●講演内容

① 甲状腺の基本的知識

② 子どもに見られる甲状腺の病気・治療

③ 甲状腺疾患の女性の妊娠・出産

④ 甲状腺の病気とヨウ素







アンケート結果より

<参加された方の感想>

「とても参考になりました。ありがとうございました」

「甲状腺に関する症状は、家庭や学校の生活の中で見られることも多いと思うので、

今後養護教諭として働く際に注意しようと思いました」

「平日の日中だと仕事でなかなか参加することが難しいので、アーカイブ配信をしていただけたら ありがたいです」

「小児の講演でしたが、妊産婦や大人への対応にも関係することで、

今後の業務に活かしていきたいと思います。本日はわかりやすい講義、ありがとうございました」

●担当者より一言

今年度初回のオンライン講演会となりました。ご家族が3組と、熱心な養護教諭の方達のご参加がありました。香川先生のお話は基礎的な甲状腺の知識から、疾患や治療、妊娠出産に関することまで丁寧に説明され、参加者から大変好評を得て多くの質問もいただきました。マススクリーニングの制度が整い、先天性の甲状腺疾患は発見されやすくなっています。後天性の甲状腺疾患は不登校など「子どもの心外来」で発覚するというお話もありました。このようなお話が聞けるのは大変貴重な機会となります。ご家族も関係者も多くの方のご参加を頂ければと思いました。